

平成21年度第2四半期再資源化預託金等特別会計収支計算書(案)の説明書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

資料6-2

*百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値とは一致しない。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①預託金預り収入

再資源化等預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	218万台	486万台	45%	242万台	△24万台	90%
引取時預託(後付預託を除く)	7万台	18万台	37%	25万台	△18万台	27%
合計(A)	224万台	504万台	45%	267万台	△42万台	84%

引取時預託(後付預託のみ)(B)	10万台	16万台	63%	10万台	△0万台	99%
------------------	------	------	-----	------	------	-----

預託台数合計(A)+(B)	235万台	520万台	45%	277万台	△42万台	85%
---------------	-------	-------	-----	-------	-------	-----

(2) 品目別の平均単価(エアバッグ類・エアコン未装備車を除いたもの)

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,540円	6,410円	130円	6,500円	40円
エアバッグ類	2,510円	2,470円	40円	2,470円	40円
フロン類	2,060円	2,060円	0円	2,070円	△10円
合計	11,110円	10,940円	170円	11,040円	70円

(3) 品目別の装備率

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
エアバッグ類	95%	95%	0	89%	6
フロン類	97%	97%	0	94%	3

(4) 金額

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	24,734百万円	54,539百万円	45%	28,628百万円	△3,894百万円	86%

情報管理預託金預り収入

(1) 預託方法別の預託台数

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
新車購入時預託	218万台	486万台	45%	242万台	△24万台	90%
引取時預託	7万台	18万台	37%	25万台	△18万台	27%
合計	224万台	504万台	45%	267万台	△42万台	84%

(2) 金額

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	516百万円	1,159百万円	45%	614百万円	△97百万円	84%

預託金預り収入計

金額

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	25,251百万円	55,698百万円	45%	29,242百万円	△3,992百万円	86%

【予算との比較】

○新車購入時預託台数の上半期の対年間予算想定台数進捗率は前年度までの預託実績を参考に47%としていたが、実績は45%となり、台数実績は予算想定を下回った。ただし、第2四半期においては、予算想定118万台に対して実績122万台と予算想定を上回った。
○引取時預託台数(後付預託を除く)の上半期の対年間予算想定台数進捗率は前年度預託実績等を参考に51%としていたが、引取業者引取台数に対する引取時預託台数(後付預託を除く)の比率が予算想定を下回ったこと等により(上半期実績4%、年間予算想定5%)、実績は37%となり、台数実績は予算想定を下回った。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入の進捗率は、上半期の対年間予算想定進捗率48%を下回る45%となった。

《参考》新車購入時預託台数実績

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成21年度	96万台	122万台			218万台
平成20年度	118万台	124万台	106万台	123万台	471万台

【前年度同期実績との比較】

○新車購入時預託
新車購入時預託台数は、前年度同期実績を下回った。
○引取時預託(後付預託を除く)
引取業者引取台数のうち新車購入時・継続検査時等で既に預託済みの台数の比率が高まっている(=引取時預託台数の比率が低下している。)。このため、引取時預託台数(後付預託を除く)は、前年度同期実績を下回った。
以上を要因として、再資源化等預託金預り収入は前年度同期実績を下回った。

《上半期における預託方法別の平均単価(エアバッグ類・フロン類未装備車を除いたもの)》

	平成21年度2Q決算		平成21年度年間予算		平成20年度2Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
ASR	6,570円	5,830円	6,440円	5,800円	6,570円	5,750円
エアバッグ類	2,510円	2,080円	2,470円	2,160円	2,480円	2,040円
フロン類	2,060円	2,100円	2,060円	2,100円	2,070円	2,100円
合計	11,140円	10,010円	10,970円	10,060円	11,120円	9,890円

《上半期における預託方法別の装備率》

	平成21年度2Q決算		平成21年度年間予算		平成20年度2Q決算	
	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託	新車購入時預託	引取時預託
エアバッグ類	97%	28%	97%	42%	97%	16%
フロン類	99%	33%	99%	28%	99%	39%

【予算との比較】

同上。

【前年度同期実績との比較】

同上。

②特定資産運用収入—再資源化預託金等特定資産運用収入

金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
5,145百万円	10,403百万円	49%	4,709百万円	437百万円	109%

【予算との比較】

予算想定のとおり。

【前年度同期実績との比較】

保有債券残高の積み上がりにより特定資産運用収入は前年度同期実績を上回った。

《保有債券残高実績》

平成21年度2Q末残高	平成20年度2Q末残高
7,900億円	7,596億円

2. 事業活動支出

①預託金払渡支出

再資源化等預託金払渡支出

(1)品目別の払渡台数

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
ASR	181万台	360万台	50%	199万台	△18万台	91%
エアバッグ類	80万台	186万台	43%	67万台	13万台	120%
フロン類	151万台	303万台	50%	154万台	△4万台	97%

(2)品目別の平均単価

	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異 (a)-(c)
	決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)		
ASR	6,200円	6,270円	△70円	6,110円	90円
エアバッグ類	2,030円	2,100円	△70円	1,960円	70円
フロン類	2,090円	2,090円	0円	2,090円	0円

(3)金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
15,987百万円	32,809百万円	49%	16,685百万円	△698百万円	96%

《引取業者引取台数実績》

平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
189万台	360万台	53%	200万台	△10万台	95%

【予算との比較】

各品目の払渡台数の上半期の対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考にASR52%、エアバッグ類50%、フロン類52%としていたが、各品目の実績はASR50%、エアバッグ類43%、フロン類50%となり、台数実績は予算想定を下回った。
(なお、エアバッグ類は、引取業者引取台数における装備率を年間予算想定54%としていたが、上半期実績は42%であったため、他の品目よりも対年間予算想定台数進捗率が低い。)

このため、再資源化等預託金払渡支出の進捗率は、上半期の対年間予算想定進捗率52%を下回る49%となった。

【前年度同期実績との比較】

引取業者引取台数が前年度同期実績を下回ったため、主としてASR及びフロン類の払渡台数が前年度同期実績を下回ったことにより、再資源化等預託金払渡支出は前年度同期実績を下回った。

(なお、エアバッグ類の払渡台数は、引取業者引取台数におけるエアバッグ類の装備率の上昇率が大いことから、前年度同期実績を上回った。)

《引取業者引取台数におけるエアバッグ類・フロン類の装備率実績》

	平成21年度2Q		平成20年度2Q
	年間予算	決算	
エアバッグ類	42%	54%	34%
フロン類	82%	87%	76%

情報管理預託金払渡支出

(1)台数

平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
189万台	360万台	53%	208万台	△19万台	91%

(2)金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
299百万円	590百万円	51%	380百万円	△82百万円	79%

【予算との比較】

○払渡台数の上半期の対年間予算想定台数進捗率は、前年度払渡実績等を参考に54%としていたが、実績は53%となり、台数実績は予算想定を下回った。

○単価230円の払渡台数の比率が予算想定を下回った。

以上を要因として、情報管理預託金払渡支出の進捗率は、上半期の対年間予算想定進捗率54%を下回る51%となった。

【前年度同期実績との比較】

○引取業者引取台数が前年度同期実績を下回ったため、払渡台数は前年度同期実績を下回った。

○単価230円の払渡台数の比率が前年度同期実績を下回った。

以上を要因として、情報管理預託金払渡支出は前年度同期実績を下回った。

《情報管理預託金払渡支出の単価別の払渡台数》

1台当たり単価	平成21年度2Q				平成20年度2Q	
	決算		年間予算		決算	
	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率	払渡台数	払渡台数比率
130円	137万台	72%	238万台	66%	99万台	48%
230円	53万台	28%	122万台	34%	109万台	52%
合計	189万台	100%	360万台	100%	208万台	100%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
549百万円	1,106百万円	50%	334百万円	214百万円	164%

【予算との比較】

未払再資源化預託金等利息支払支出の上半期の対年間予算想定進捗率は、前年度払渡実績等を参考に52%としていたが、利息を付す払渡台数が予算想定を下回ったため、実績は50%となり、未払再資源化預託金等利息支払支出は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

平成21年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率が平成20年度よりも高いため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を上回った。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率
適用利率	平成21年度払渡 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%
	平成20年度払渡 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

預託金払込支出計

金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
16,835百万円	34,505百万円	49%	17,400百万円	△565百万円	97%

②預託金輸出返還支出

再資源化預託金等輸出返還支出

(1)台数

平成21年度2Q			平成20年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
39万台	118万台	33%	71万台	△32万台	55%

(2)平均単価

平成21年度2Q			平成20年度2Q	決算対前年度差異
決算(a)	年間予算(b)	差異(a)-(b)	決算(c)	(a)-(c)
10,670円	10,920円	△250円	10,770円	△100円

(3)金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
4,162百万円	12,922百万円	32%	7,673百万円	△3,512百万円	54%

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
118百万円	439百万円	27%	139百万円	△21百万円	85%

預託金輸出返還支出計

金額

平成21年度2Q			平成20年度2Q	決算対前年度差異	
決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)
4,280百万円	13,361百万円	32%	7,812百万円	△3,533百万円	55%

【予算との比較】

○輸出返還台数の上半期の対年間予算想定台数進捗率は前年度輸出返還実績等を参考に49%としていたが、実績は33%となり、台数実績は予算想定を下回った。
○輸出返還平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、再資源化預託金等輸出返還支出の進捗率は、上半期の対年間予算想定進捗率49%を下回る32%となった。

【前年度同期実績との比較】

輸出返還台数が前年度同期実績を下回ったため、再資源化預託金等輸出返還支出は前年度同期実績を下回った。

《参考》輸出返還台数実績

	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	合計
平成21年度	22万台	17万台			39万台
平成20年度	34万台	37万台	38万台	35万台	144万台

【予算との比較】

○未払再資源化預託金等利息支払支出の上半期の対年間予算想定進捗率は、前年度輸出返還実績等を参考に48%としていたが、輸出返還台数が予算想定を下回ったこと等により、実績は27%となり、利息を付す輸出返還台数は予算想定を下回った。
○利息の平均単価は予算想定を下回った。
以上を要因として、未払再資源化預託金等利息支払支出の進捗率は上半期の対年間予算想定進捗率48%を下回る27%となった。

《参考1》上半期における預託年度別の輸出返還台数実績

預託年度	平成21年度2Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
平成16年度	7万台	15万台	46%
平成17年度	18万台	62万台	30%
平成18年度	11万台	34万台	33%
平成19年度	1.5万台	4万台	38%
平成20年度	0.6万台	1万台	49%
平成21年度	0.1万台	1万台	9%
合計	39万台	118万台	33%

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

(※)なお、当年度預託の自動車の当年度輸出返還には利息は付されない。

《参考2》上半期における利息が付された輸出返還1台当たりの利息単価の実績

	平成21年度2Q		
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)
利息単価	304円	375円	81%

【前年度同期実績との比較】

平成21年度の未払再資源化預託金等利息支払支出に適用される利率は平成20年度よりも高いが、輸出返還台数が前年度同期実績を下回ったため、未払再資源化預託金等利息支払支出は前年度同期実績を下回った。

	平成16年度利率	平成17年度利率	平成18年度利率	平成19年度利率	平成20年度利率
適用利率	平成21年度輸出返還 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	1.248%
	平成20年度輸出返還 0.004%	0.380%	0.835%	1.132%	—

(※)利息は預託年度に応じて複利計算される。

③他会計への繰入金支出

承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出

金額	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	184百万円	184百万円	100%	303百万円	△120百万円	61%
	(当初予算) (190百万円)					

未払再資源化預託金等利息支払支出

金額	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	6百万円	6百万円	100%	7百万円	△0百万円	94%
	(当初予算) (-)					

他会計への繰入金支出計

金額	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	190百万円	190百万円	100%	310百万円	△120百万円	61%

《出えん実績》

出えん先	出えん額(※)	
	平成21年度2Q	平成20年度2Q
指定再資源化機関	160百万円	70百万円
情報管理センター	30百万円	240百万円
合計	190百万円	310百万円

(※)「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」と「未払再資源化預託金等利息支払支出」の合計額。
(なお、会計規程第14条の規定に基づき、「承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計への繰入金支出」の当初予算190百万円のうち、6百万円を「未払再資源化預託金等利息支払支出」の予算へ流用した。)

II 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入—再資源化預託金等特定資産取崩収入

金額	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	21,789百万円	48,259百万円	45%	25,309百万円	△3,520百万円	86%

【予算との比較】

特定資産取崩収入の上半期の対年間予算想定進捗率は、事業活動支出の予算想定から52%としていたが、事業活動支出が予算想定を下回ったため、実績は45%となり、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

事業活動支出が前年度同期実績を下回ったため、事業活動支出の原資となる特定資産取崩収入は前年度同期実績を下回った。

2. 投資活動支出

①特定資産取得支出—再資源化預託金等特定資産組入支出

金額	平成21年度2Q			平成20年度2Q 決算(c)	決算対前年度差異	
	決算(a)	年間予算(b)	(a)/(b)		(a)-(c)	(a)/(c)
	30,896百万円	66,213百万円	47%	36,732百万円	△5,836百万円	84%

【予算との比較】

特定資産取得支出の上半期の対年間予算想定進捗率は、預託金預り収入等の予算想定から52%としていたが、主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が予算想定を下回ったため、実績は47%となり、特定資産取得支出は予算想定を下回った。

【前年度同期実績との比較】

主として新車購入時の預託金預り収入の入金額が前年度同期実績を下回ったため、特定資産取得支出は前年度同期実績を下回った。